



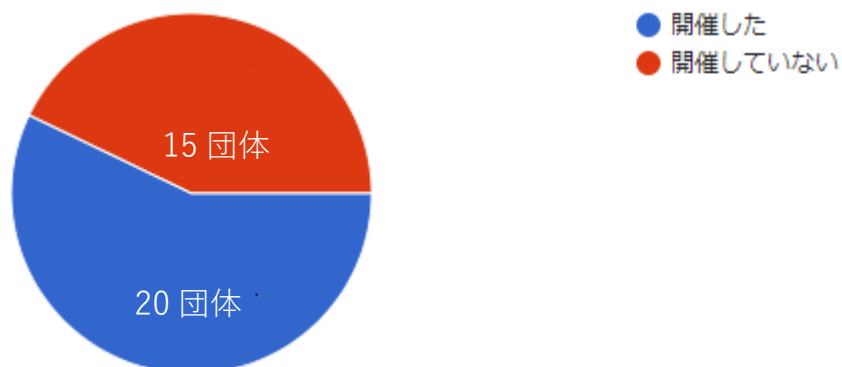
新型コロナウイルス感染症対策に係るアンケート 調査結果

- 1. 調査期間 令和2年11月4日(水)～11月27日(金)
- 2. 調査対象 公益財団法人相模原市スポーツ協会 加盟団体(35団体)
- 3. 回答数 35団体(回答フォーム21、FAX等14)

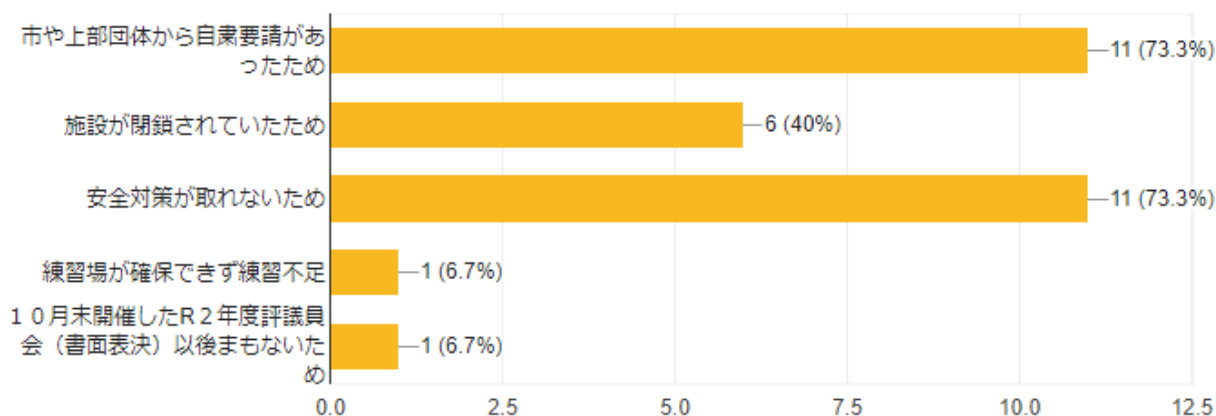
公益財団法人 相模原市スポーツ協会

新型コロナウイルス感染症対策に係るアンケート調査結果

1. 令和2年度、主催事業を開催しましたか（35 団体の回答）

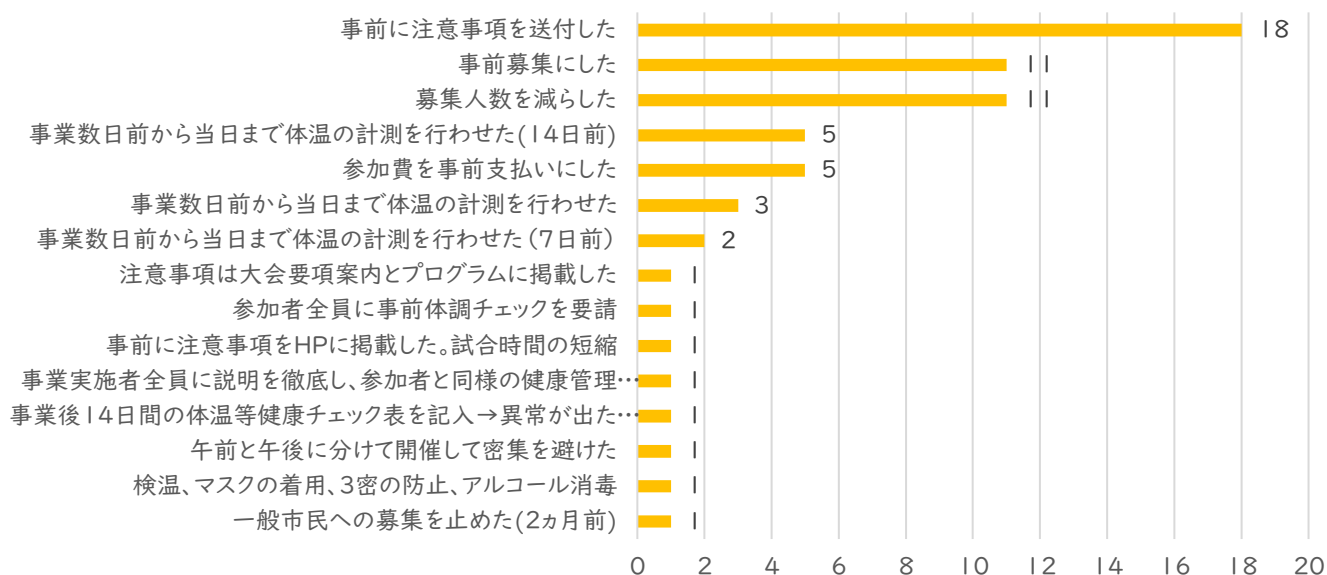


① 開催していない理由をお教えてください（15 団体の回答）

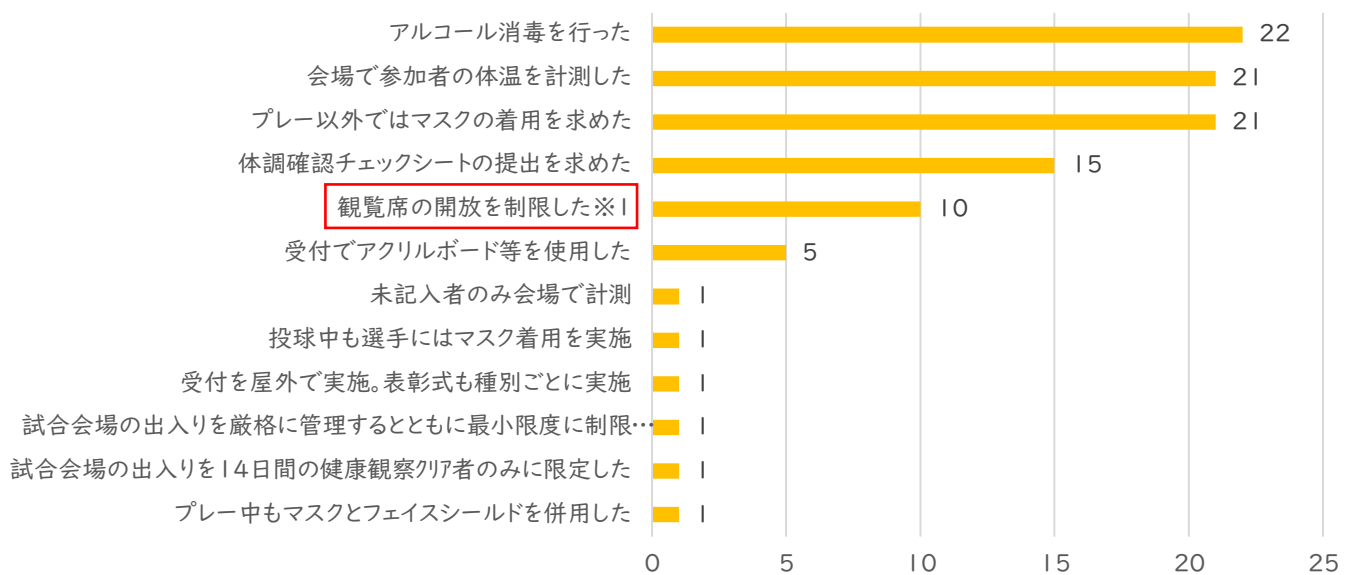


2. 事業を開催した際の感染症対策についてお教えてください

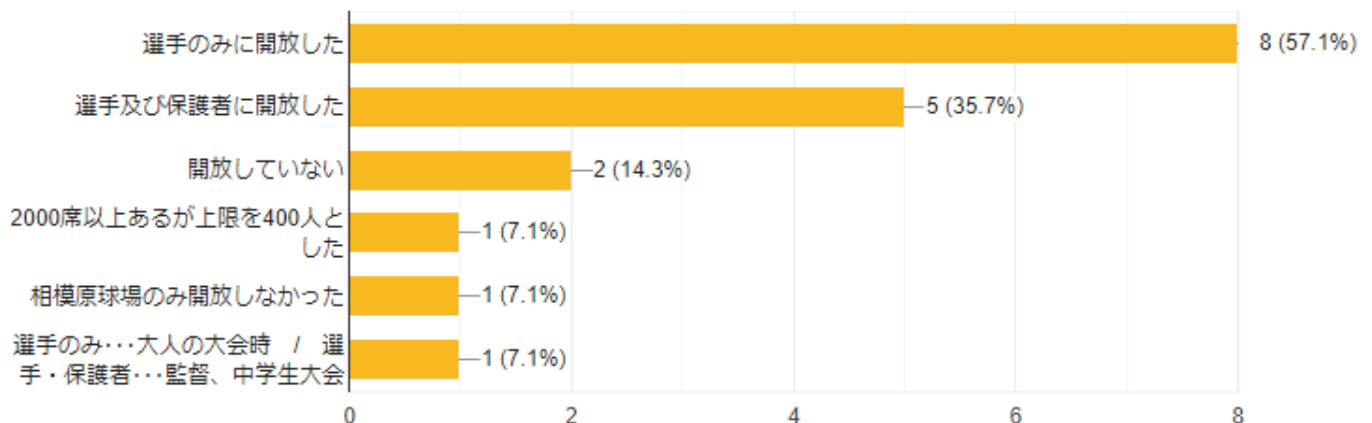
①開催前の取り組み（24 団体の回答）



②当日の取り組み(24 団体の回答)



上記※1 にチェックした団体はどのように制限したか教えてください(14 団体の回答)



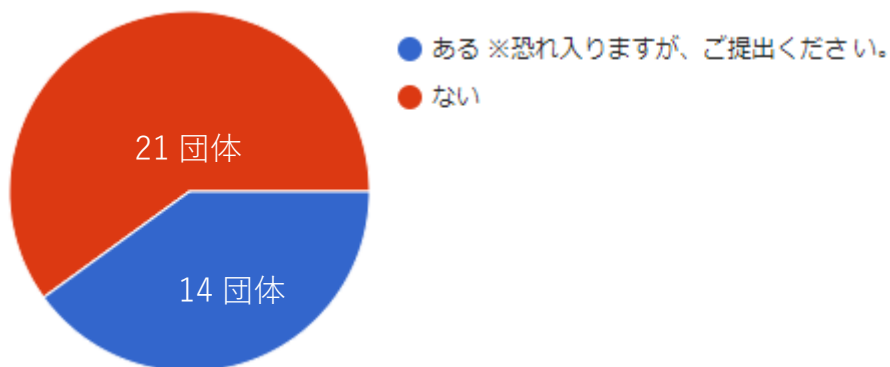
③その他、感染症対策がありましたらご記入ください(一部抜粋)

- ・試合開始及び終了時の握手なし。整列の距離(間隔)をとった。
- ・県の新型コロナウイルス感染症対策に協力についてのパンフレットを各所に掲示。
- ・予め受付時間を分けて、受付はチーム毎に順番に行った。
- ・参加者にはマスク着用とフェイスシールド着用をお願いした(義務化)。
- ・観覧席の使用できる数が利用可能の数より少なくフロアーにシートを敷き、2m間隔に椅子を置き、選手が待機できるようにした。
- ・会場は全てのドアを開け、大型の扇風機で外気を取り込むようにした。
- ・大会終了後の表彰式・パーティーは取りやめ。プレー終了後、即帰宅をお願いした。
- ・参加者・指導者共にマスク着用、参加者の連絡先を事務局で事業実施後一か月保管。

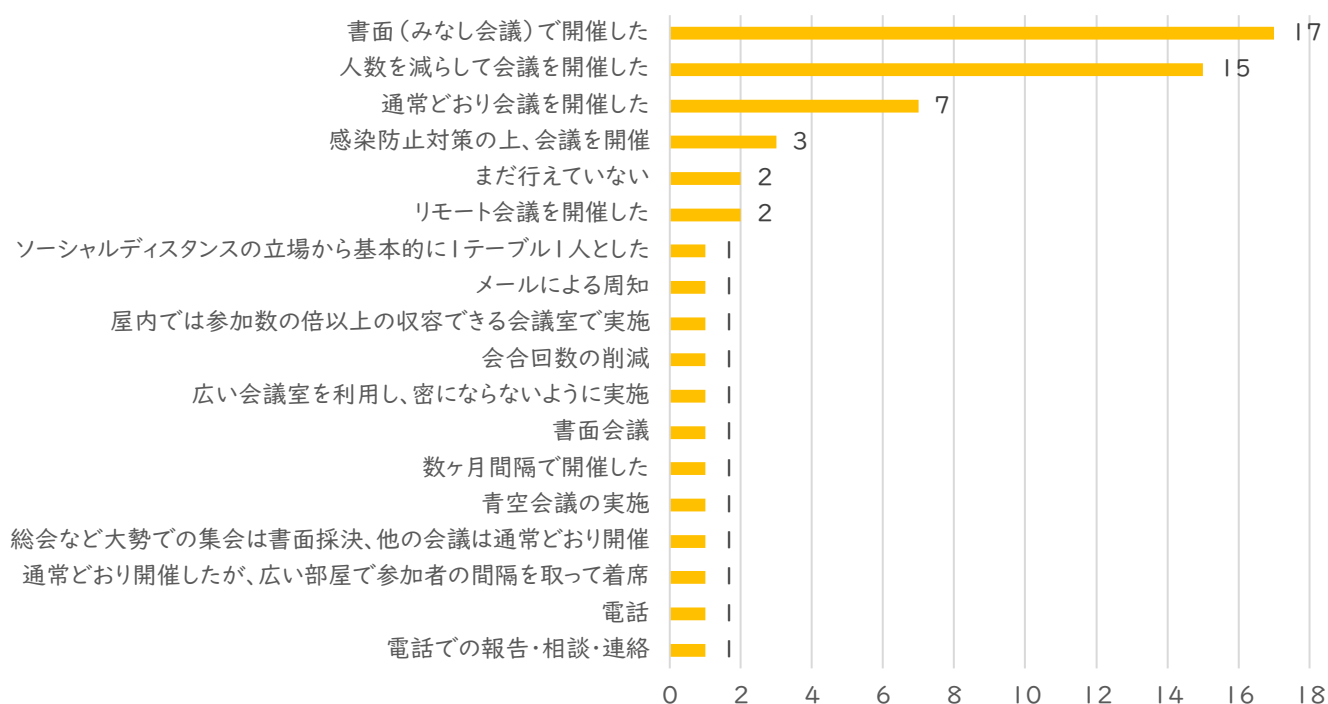
④事業の開催にあたり、苦勞した点があればご記入ください（一部抜粋）

- ・会場の外で全員に検温する為、最初の事業の時近隣から騒音でクレームが出た（参加者全て車）。2回目からは対策を講じた
- ・高齢者が多いため、体調不良や高熱の方の入場規制を徹底した。
- ・安全管理事項の検討、資料作成、周知徹底、実施準備（消耗品等の購入含む）。実施時の適性は管理運用、保管に至るまで細心の注意を払って実施した。また、これらを組織として協議した。
- ・事業を開催するか否かで、役員会では判断に苦しんだ。
- ・ギオンアリーナと北体育館では、観覧席の扱いが異なり対応に苦慮した。
- ・観覧席での飲食ができなかったこと（北体育館）。
- ・ギオンアリーナ中体育館の時にはロビーにても昼食がとれず、車や外に行っていました。
- ・事前検温の徹底をお願いしているが、実施されていないため、受付での検温に時間をとられる（事業の遅延が生じる）。

3.貴団体独自の“感染症対策マニュアル”はありますか（35 団体の回答）



4.貴団体の会議の状況について教えてください(35 団体の回答)



5.今後“新たな生活様式”での事業運営としての取り組みを検討している事項があれば教えてください(一部抜粋)

- ・現状では今年度のやり方で事業を展開できますが、今後事態がさらに悪化した場合は異なる対策を検討せざるを得ないと考えています。
- ・これまでは全日本剣道連盟、神奈川県剣道連盟に関連する事業を感染対策に準拠して実施しましたが、今後は市剣道連盟事業をどのように実施していくか年内を目途に検討いたします。
- ・感染しないように対処しながらの大会運営は、選手も運営側も異常なほどに萎縮してしまい、心身ともに疲れる一方だ。一刻も早く本来の大会になることを願うのみである。“新たな生活様式”に対応するには“大会中止”しかないのではないかと？
- ・各大会、コロナ対策ガイドラインにそって開催<(公財)日本バドミントン協会コロナ対策ガイドライン>
- ・全日本柔道連盟の指針をもとに各団体にて感染対策を徹底している。
- ・3密を発生するような総合開会式(参加者約1,000名)や表彰式(納会)のような式典は、感染症の発生・拡大の状況下では行わない。
- ・所属上部団体のコロナ対策マニュアルを参考に今後も取り組んでいきたいと考えております。
- ・協会でのマニュアル作りをしていく。